

(様式第3号)

企業・団体名(ながの観光コンベンションビューロー)

# SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、教育などあらゆる面で、性別、年齢、障がい、国籍、出身などで差別をしない。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則にハラスメントの禁止を明記し、相談窓口を設置している。ハラスメント禁止について事業主の方針を示すとともに働きやすい環境をつくるために社会保険労務士の職場研修を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法を厳守し、業務分担の適正化と時短対策会議により超過勤務削減に取り組んでいる。グループワークを導入しDXによる事務効率化を図っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			業務上関わりのある他団体の外国人職員とは、他の職員と同様に接している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			職場内の整理整頓に努め、職場環境の整備に取り組んでいる。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			担当部署ごとに面談を重ね、メンタルヘルスに関する方針に取り組んでいる。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が適材適所で働く人員配置に取り組んでいる。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			知識や技能等習得のための研修参加を推進するとともに、資格取得等に係る費用の助成制度を設けている。			4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金の原則に沿った雇用条件としている。				5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			年次有給休暇に加え、健康増進を目的とした有給の特別休暇を設けている。テレワーク制度を導入し、柔軟な働き方による職員の負担軽減と生産性の向上を図っている。			3				8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			入居施設のルールに従い、分別廃棄を徹底するなど適切な処理をしている。												11.6	12.4		14.1		
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			入居施設における当事業所の電力使用量を把握している。							7.3							13			
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			クールビズの実施、エアコン温度設定など省エネ活動に取り組んでいる。					7.2 7.3					12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		事業活動において有害化学物質の取扱いはない。			3.9			6.3				11.6	12.4						

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 <small>(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)</small>	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			廃棄物の削減や適正処理を実践し、生物多様性や生態系に配慮している。 ノベルティグッズの繊維素材を植物由来をしている。							6.6							15			
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			廃棄物の発生抑制、古紙の再利用、印刷物やコピー用紙に再生紙を利用するなどの取り組みを行っている。内部会議は可能な限りペーパレス化を実践している。												12.5	14.1				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ										6.4	6.6									
	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ							3.9			6	7				12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ											7.2				13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			コンプライアンス規程を制定し、職員へ行動規範を示している。一層の周知を図る。														16	16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			コンプライアンス規程により、公平公正な事業活動を行うこととしている。 職員へ行動規範を示し、一層の周知を図る。														16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			事業活動にあたり著作権等の侵害とならないよう留意している。							8.2	8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護に関する規程を制定し、個人情報を適切に管理している。														16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																		16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5			8	10		12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」をR7年度に作成・公表する。		3						8	9	10						17	

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																			
						1 1. 経済 発展	2 2. 民主 主義	3 3. 環境 保全	4 4. 健康 平等	5 5. 男女 平等	6 6. 持続 可能な 開発	7 7. 水資源 管理	8 8. 気候 変動 対応	9 9. 積極的 行動	10 10. 住 宅	11 11. 産業 開発	12 12. 生物 多様性	13 13. 清潔 エネルギー	14 14. 住 み 開 拓	15 15. 一 般 公 益	16 16. 一 般 公 益	17 17. 一 般 公 益			
29 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			観光プランや体験ツアー等の提案については、職員が現地の安全確認を行っている。			3.9											12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			来訪者満足度の向上を図るため、コンベンション主催者、参加者をはじめ、各種イベント開催時にはアンケートを実施し、より良いサービスの提供に向け活用している。										9										
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			来訪者に提供するノベルティグッズ(トートバッグ)の生地を植物由来の繊維素材とする。						6								12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			地域における知的基盤の強化や、地域ブランドの向上による経済の活性化を図るために信州大学、長野県立大学と包括的連携を締結した。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
33 地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			観光誘客、各種コンベンション誘致により地域社会の発展に寄与することを目的として取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17			
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ							4										11		14	15			
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			観光客へのPR用に地元産の農作物等を活用している。									8	9		11	12	13						
36 組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			設立目的及び公益財団法人として果たすべき役割を組織内で共有している。									8	9								17		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			コンプライアンス規程を制定している。 職員へ行動規範を示し、一層の周知を図る。																		16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			事業活動が社会・環境に及ぼす影響について組織全体で情報を共有し、事業活動において各部署で対応している。																		16		
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			ステークホルダーとの対話により得た情報を内部で共有し、事業を実施するときの参考としている。																		16		
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																						16	
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																						16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																	9		11	13	13.1		16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ																	8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるばし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定